

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学脳研究所 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者を対象に、若手教員一括採用育成制度「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」を実施します。この制度は、本学においてそれぞれの専門分野の研究を深めると同時に、意欲をもって異分野横断研究を展開する研究者の育成を目的としたものです。

若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行います。各分野での専門性を中心とした1次選考、役員による総合的な観点による2次選考を実施し、採用者を決定します。採用された教員には専門分野に応じた学系等に所属するとともに、本学の研究推進を担う研究統括機構に兼務していただき、本学の新たなフラッグシップとなりうる新しい異分野融合研究の萌芽をもたらすための活動に従事していただきます。

公募分野

「環境経営学」、「新領域法学（知的財産法）」、「コーポレート・ファイナンス分野」、「作物栽培学」、「都市計画学」、「ケミカルバイオロジー」、「行動生態学」、「生命科学分野（ウイルス学分野、母子のための社会精神医学、生体組織再生工学分野、生体制御学分野、放射線技術科学分野）」、「学際的脳神経疾患研究」

募集人数

10名程度を予定

本公募はその一環として学際的脳神経疾患研究担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

テニユアトラック助教 1名（任期5年・再任不可）

4年目の業績評価により、任期の定めのない助教に移行可能

2. 採用予定日

令和8年4月1日

3. 所属

原則として、メンター教員（脳研所属の常勤又は特任の教授）が所属する脳研究所の分野を活動拠点としていただきます。

研究を行うことを基本としますが、本人のキャリアに役立つ場合、教育などにも携わってもらいます。

特に研究活動面に関するサポートを受けるため、採用時から原則として3年間、研究統括機構に兼務してスイングバイ・プログラム採用教員として活動していただきます。

4. 職務内容

[担当部署] 新潟大学脳研究所

[職務内容]

1. 研究について

ヒト脳三次元イメージング、空間トランスクリプトーム、AI ベース統合解析などの最先端技術を駆使し、当研究所が保有する世界有数の脳リソースを最大限活用して研究を行い、脳研究所の強みである病理・生理・分子機能解析と最先端データサイエンスを融合させ、神経変性疾患・脳血管障害などの克服に向けた研究基盤の強化を担っていただきます。

2. 教育について

データサイエンスと臨床神経科学の橋渡しとなる教育を担当いただくことがあります。

3. 社会貢献について

小中学生、高校生や地域の住民の方を対象としたセミナーや講演会を担当いただくことがあります。

※着任後、原則3年間は研究統括機構の兼任教員としてスイングバイ・プログラムに参加する。

[専門分野] 学際的脳神経疾患研究

[備考]

研究グループの一員として活動していただきますが、将来的にはPIとしての自立を期待しています。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位を取得後概ね5年以内の者（着任日までに学位取得見込みの者を含む）
- (2) 将来的にPIとして自立して最先端研究の展開を目指す者
- (3) スイングバイ・プログラムの趣旨を理解し、意欲をもって取り組むことのできる者
- (4) 専門分野における先端的な研究実績のある者または学術論文を継続的に発表している者
- (5) 科学研究費補助金・各種外部資金等に採択された経験のある者
- (6) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟大学脳研究所（新潟県新潟市中央区旭町通1番町757番地）
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態
 - ・勤務時間：基本的に専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分）。専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、1週間の勤務時間38時間45分、1日の勤務時間8時30分～17時15分（休憩時間12時00分～13時00分）の固定労働時間制となります。
 - 裁量労働制とするか固定労働時間制とするかは、採用時に希望を伺います。
 - ・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 研究室の使用 共同の居室を支給予定

7. スイグバイ・プログラム採用教員としての兼務期間の活動

採用者には分野を越えた一括採用制度であるスイグバイ・プログラムを活かすため、着任後3年間は研究統括機構に兼務していただき、次のような活動を求めます。

- ・部局・分野を越えたネットワークを主体的に構築していくこと。
- ・構築したネットワークを活かして異分野交流活動を行い、その成果を学内外に広く発信すること。

上記の実現のため、以下のような活動等があります。

- ・採用者同期会や異分野交流会の企画・運営
- ・年に一度以上の学長・理事との意見交換会
- ・大学での教育方法に関する研修

なお、本学には次のような研究支援体制があり、積極的な活用を期待します。

- ・全学的な機器共用制度
- ・科研費等の外部資金獲得サポート
- ・定期的な異分野交流会
- ・スイグバイ・プログラムからのスタートアップ研究資金の配分
- ・その他、教育研究活動のための研修

※ 上記以外に脳研究所独自の支援（インキュベーションラボに設置する共用基盤設備の利用、必要に応じてスタートアップ経費の配分、メンター教員による外部資金獲得サポートをはじめとした各種教育研究指導など）を予定

8. 応募書類

※ JREC-IN Portal からの Web 応募を行ってください。Web 応募の難しい特段の理由が

ある場合は、郵送での応募が可能です（Web 経由で送付できない業績がある場合など）。

※ 本公募では業績リスト・外部資金獲得状況・主要論文の確認に **researchmap** を使用します。

(1) 履歴書：写真貼付のこと

※履歴書の「賞罰」の欄には、受賞、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、該当する場合は、その原因となった具体的な事由について記入してください。「賞罰」の欄が無い場合は、備考等に賞罰の有無とその事由を記載してください。

万が一、経歴に虚偽の申告があった場合は、採用取消や懲戒処分となる場合があります。

(2) これまでの教育研究の概要と本学に採用された場合の教育研究の抱負について、それぞれ 1,600 字～2,000 字程度にまとめたもの

(3) 応募者について意見を聞くことのできる方2名の氏名・電子メール連絡先

(4) 学際的脳神経疾患研究に関する研究計画について（2,500 字程度で、目的・背景・方法について記載してください。図は必要であれば入れてください。カラー可です）

※郵送で応募する場合は、以下も送付ください。

(5) 業績リスト（査読のある専門誌論文、国際会議論文、著書、特許、学会賞等の受賞、およびの他に分けてA4判用紙に記載してください。）

(6) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記すること）

(7) 主要論文(業績)3編以内の別刷あるいはコピー 1部

(注1) 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

(注2) 郵送の場合は、応募書類を封筒に入れ「スイングバイ・プログラム（応募する専門分野名）教員公募 応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便（受け取り確認ができる方法）にて10.に示す送付先にお送りください。

(注3) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

9. 選考スケジュール

(1) 応募締切：令和7年8月20日（水） 17時 必着

(2) 第1次選考：令和7年8月下旬～9月中旬 書面審査、面接審査（リモート面接の場合あり）

(3) 第1次選考結果通知：令和7年9月下旬

(4) 第2次選考：令和7年10月～11月（予定） 役員による面接審査（リモート面接の場合あり）

(5) 第2次選考結果通知：決定次第、本人宛通知

※交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

新潟大学脳研究所事務室庶務係

〒951-8585 新潟市中央区旭町通1番町757番地

TEL 025-227-0601

FAX 025-227-0507

E-mail noukenshomu@adm.niigata-u.ac.jp

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

新潟大学脳研究所事務室庶務係

〒951-8585 新潟市中央区旭町通1番町757番地

TEL 025-227-0601

FAX 025-227-0507

E-mail noukenshomu@adm.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター（<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。